

二〇一四年 三月

「今月の言葉」と「今月の聖語」についての紹介

## 今月の言葉

人生はやり直すことはできないが 見直すことはできる

かねこだいえい  
金子大榮

高校生の頃、勉強もろくにせずにテストに挑んだことがありました。無論、結果は散々。返却された答案用紙を丸めて、ゴミ箱へ。「やる気がなかっただけ」「いつかやればできる」。ちっぽけなプライドが必死でいいわけを考えていました。しかし失敗をなきものにしようにとした自分の愚かな行いは、どこかむなしかったのを覚えています。

人生は無情にも過ぎていきます。言うまでもなく、もう一度やり直すこともできなければ、失敗をなかつたことにすることもできません。

ですが「見直すこと」は、できるのです。しかも、いつでも、何度でも。「いまさら…」と思う人もいるかもしれませんが、決して遅すぎることはありません。

そんなことを、今月の言葉から改めて教えてもらったように思います。みなさんは、今年度を振り返ってみていかがでしょうか。

## 今月の聖語

善よからぬこと、己おののためにならぬことは、なし易やすい。

ためになることと、善いことは、実じつに極めてなし難がたい。

## 『ダンマパダ』

「やる気スイッチ。君のはどこにあるんだろう？」

ある企業のテレビコマーシャルで流されていた一節です。

「テスト前、息抜きで始めたゲームをやめられない」「授業中、気がつくとも関係のないことを考えてしまっている」「家の手伝いを頼まれても、いつも返事は『また後で』」など。

がんばらなければならぬ時に、なかなかやる気が出ない。そんな時、「やる気スイッチ」がオンになって、やる気が出てくればどんなにいいことか。誰しもそんな思いをしたことはないでしょうか。このコマーシャル、そんな心理がうまく表現されていて、印象的でした。

自分のためになること、また善い行いだとわかっている、なかなかできない。一方、ためにならないこと、ダメなことは、つついしてしまおう。そんな私の姿を聖語は言い当ててくれているように思います。今一度、自分のあり方を見つめ直してみませんか。